

NAGASE



# 2011年(平成23年)3月期 決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

2011年5月20日

## ◆ 目 次 ◆

- 2011年3月期の決算概況
- 2012年3月期業績見通し  
および中期経営計画「*CHANGE* 11」進捗
- (株)キャプテックスの事業展開について  
(蓄電デバイスへの取り組み)

**2011年3月期の決算概況**

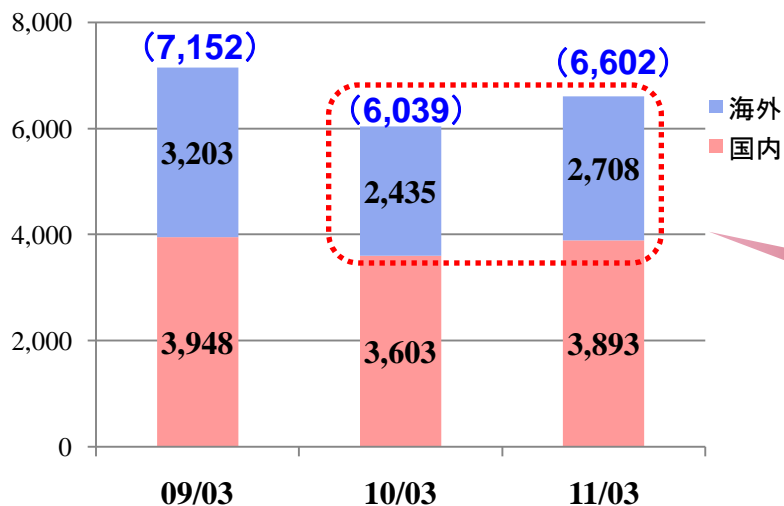
- 世界的な需要増を背景に、国内・海外共に堅調に推移し、売上高は9%増収
- 高付加価値製品の好調により、売上総利益率が向上し、営業利益は43%増益

(単位:億円)

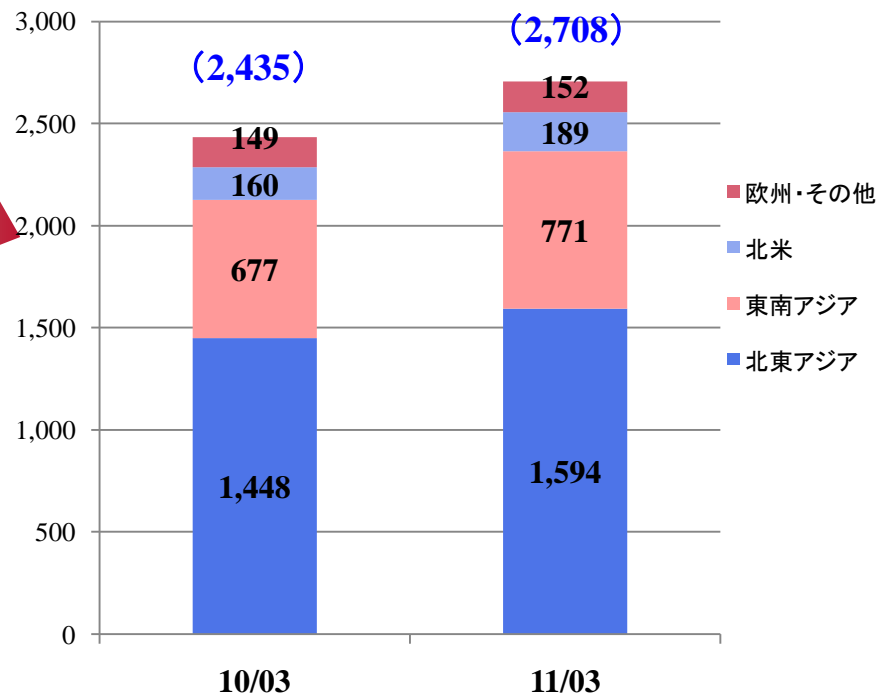
	10/03	11/03	増減	前期比
売上高	6,039	6,602	+562	109%
売上総利益 (利益率)	654 (10.8%)	730 (11.1%)	+75 (+0.3%)	112%
販売管理費	▲522	▲542	▲19	104%
営業利益	131	187	+56	143%
経常利益	147	206	+59	140%
当期純利益	75	128	+52	170%
1株当たり当期純利益	58円64銭	99円76銭	41円12銭	170%

売上高6,602億円 +562億円 109%    国内 3,893億円 +289億円 108%  
 海外 2,708億円 +272億円 111%

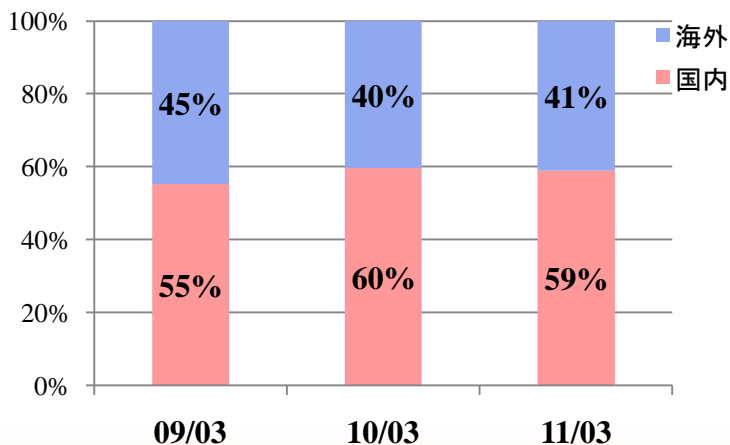
(単位:億円) 地域(国内・海外)売上高の3期推移



(単位:億円) 海外売上地域別内訳(当期・前期)



海外・国内構成比

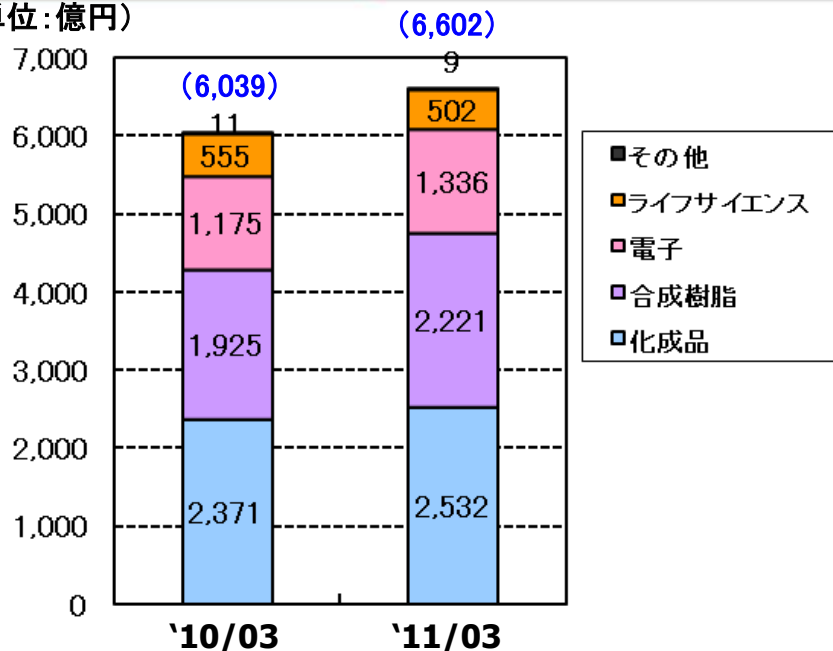


海外売上比率 40.3% ⇒ 41.0%

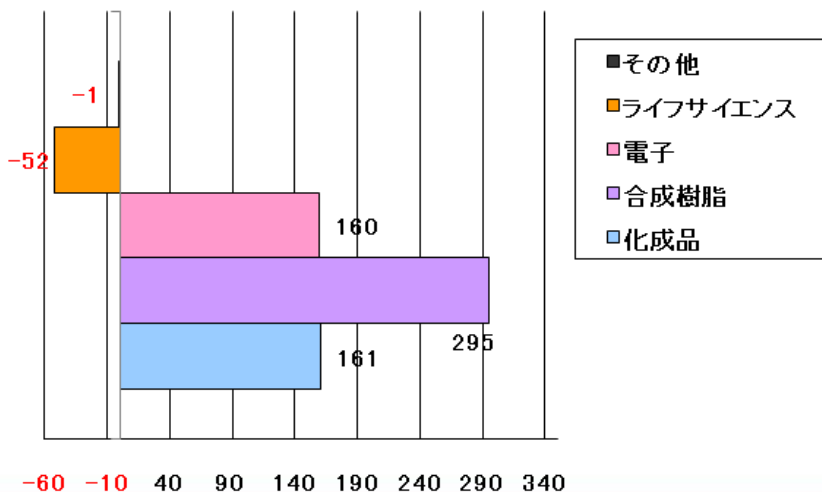
(参考:米ドル年間平均レート推移)

2008	2009	2010
102.80	93.71	87.31

(単位:億円)



売上高のセグメント別増減内訳



## 化成品 2,532億円(+ 161億円 前期比107%)

- ◎化成品業界全体の需要が堅調に推移
- プリンターインク原料、ディスプレイ関連の機能色素、導電性ポリマー増加
- 海外向けに樹脂原料・添加剤増加、自動車業界向けウレタン原料・塗料原料増加
- 液晶関連用途向けなどを中心にナガセケムテックス製品増加

## 合成樹脂 2,221億円(+ 295億円 前期比115%)

- ◎国内及び海外の全地域において売上が増加
- 北東アジア・東南アジアでの事務機・家電向け販売好調
- 自動車関連事業は、国内及び海外の全地域において好調に推移

## 電子 1,336億円(+ 160億円 前期比114%)

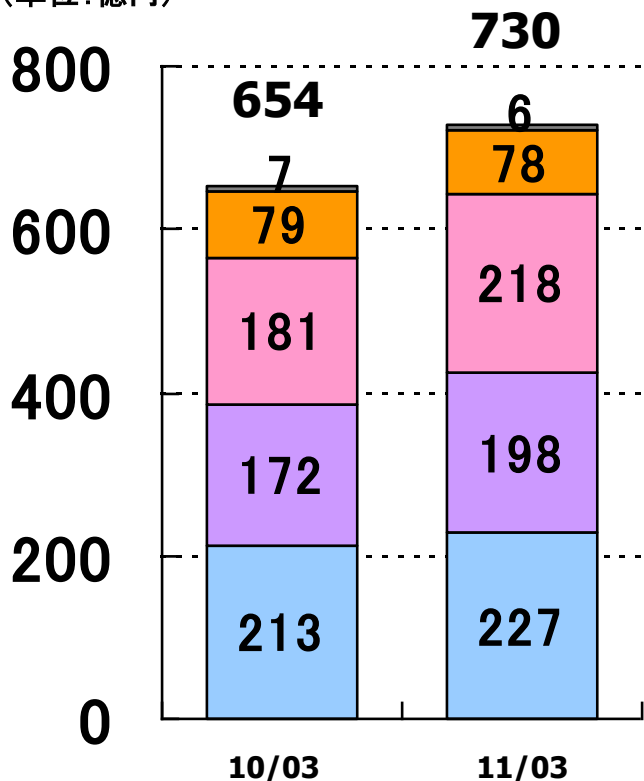
- ◎液晶・半導体・タッチパネル・スマートフォン等の需要増を受け、好調に推移
- 重電および携帯電話向けなどに変性エポキシ樹脂好調、液晶製造用薬液関連の売上伸長
- 精密関連部材前年並み、タッチパネル関連部材伸長、液晶パネル薄型化ビジネス伸長

## ライフサイエンス 502億円(▲52億円 前期比90%)

- 医薬品原料・中間体関連は売上が減少
- 酵素及び発酵生産物関連は微増
- 化粧品関連の販売は微減

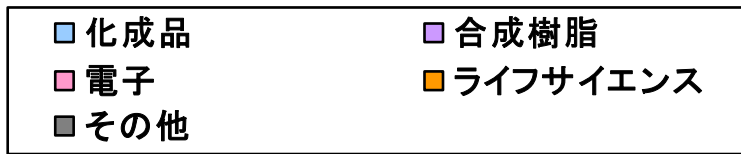
売上総利益 : 730億円 +75億円 112%

(単位:億円)



セグメント別 売上総利益 (前期比)

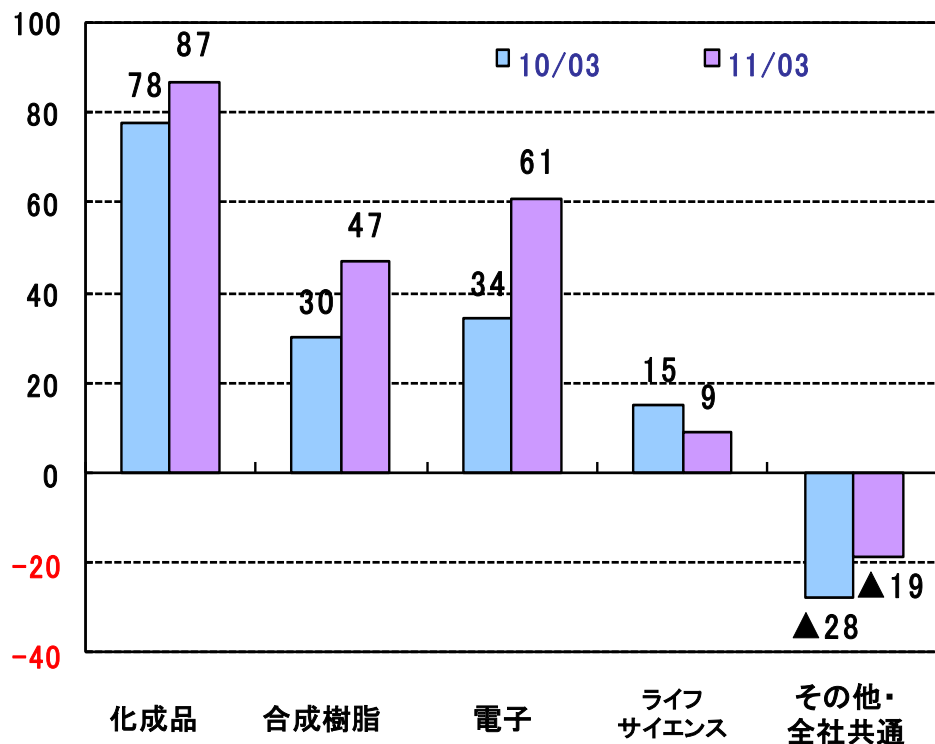
化粧品	227億円	+14億円	107%
合成樹脂	198億円	+26億円	115%
電子	218億円	+36億円	120%
ライフサイエンス	78億円	▲0億円	99%



営業利益 : 187億円 +56億円 143%

<セグメント別 営業利益>

(単位:億円)



セグメント別 営業利益(前期比)

化粧品 87億円 +9億円 112%

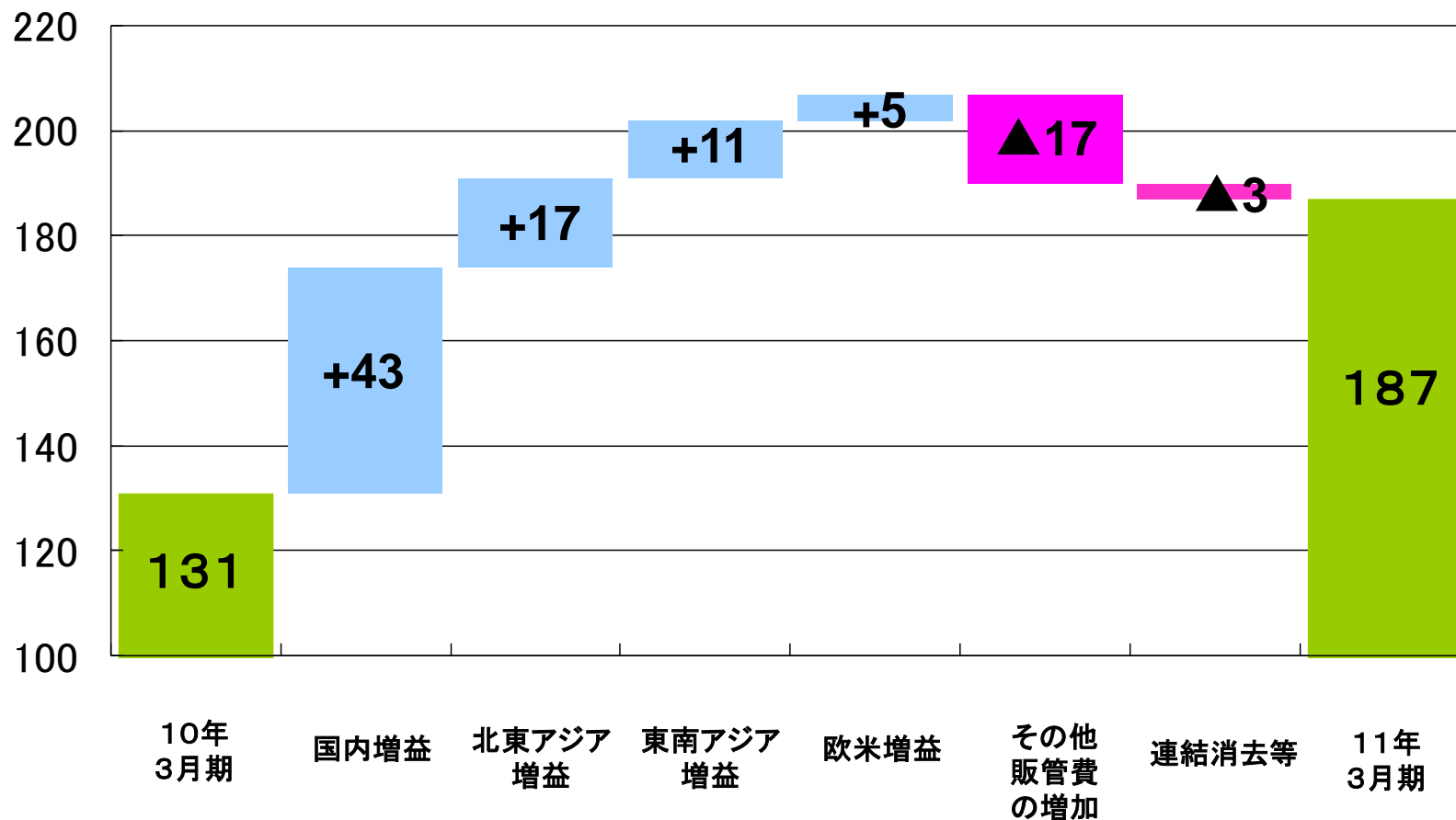
合成樹脂 47億円 +16億円 154%

電子 61億円 +26億円 176%

ライフサイエンス 9億円 ▲6億円 61%



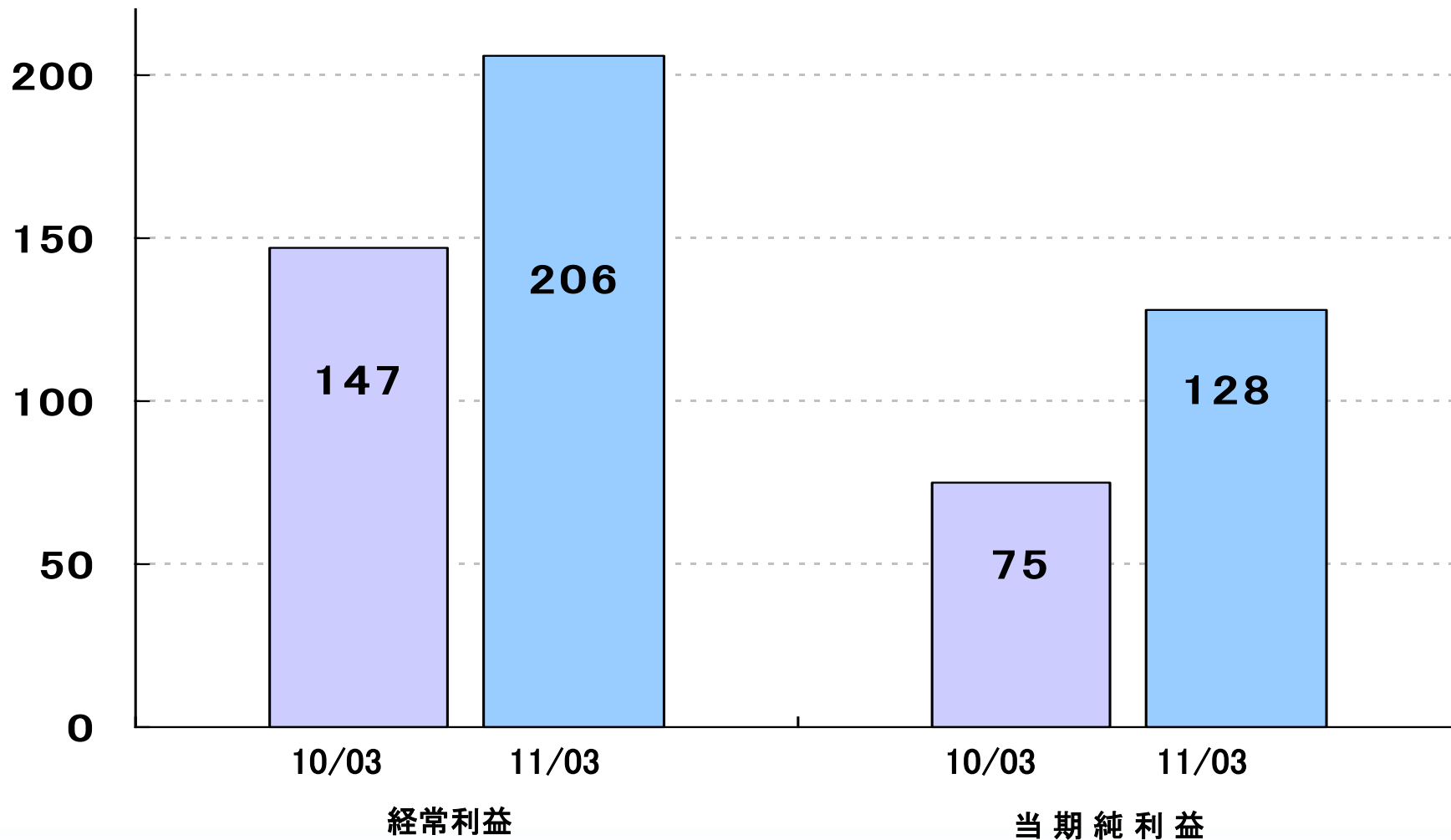
(単位:億円)



經常利益：206億円 +59億円 140%

当期純利益：128億円 +52億円 170%

(単位:億円)



- 売上増加に伴う棚卸資産の増加
- 手元流動性を厚くしたことによる現預金の増加
- 運転資金の増加に伴う短期借入金金の増加

(単位:億円)

《資産》	10/3	11/3	増減	《負債及び純資産》	10/3	11/3	増減
現金及び預金	428	472	+ 43	支払手形及び買掛金	1,086	1,016	▲69
受取手形及び売掛金	1,869	1,861	▲8	短期借入金	104	161	+ 57
棚卸資産	310	367	+ 56	その他流動負債	180	206	+ 26
その他流動資産	69	72	+ 3	長期借入金	111	105	▲5
有形固定資産	403	399	▲4	退職給付引当金	68	72	+ 4
無形固定資産	25	36	+ 11	その他固定負債	103	96	▲6
投資有価証券	536	507	▲29	株主資本	1,855	1,959	+ 103
その他固定資産	37	37	▲0	(うち自己株式)	(▲54)	(▲54)	(- 0)
				有価証券評価差額金	149	131	▲17
				為替換算調整勘定	▲52	▲76	▲23
				新株予約権	2	2	-
				少数株主持分	71	75	+ 3
				純資産合計	2,027	2,093	+ 65
				(自己資本比率)	(53.1%)	(53.7%)	(+ 0.6)
資産合計	3,680	3,753	+ 72	負債及び純資産合計	3,680	3,753	+ 72

売上回復に伴う運転資金の増加があるものの、税金等調整前利益 209億円の計上等により営業キャッシュ・フローは109億円の収入  
有形/無形固定資産・投資有価証券の取得等に伴い、投資活動によるキャッシュ・フローは91億円の支出

(単位:億円)

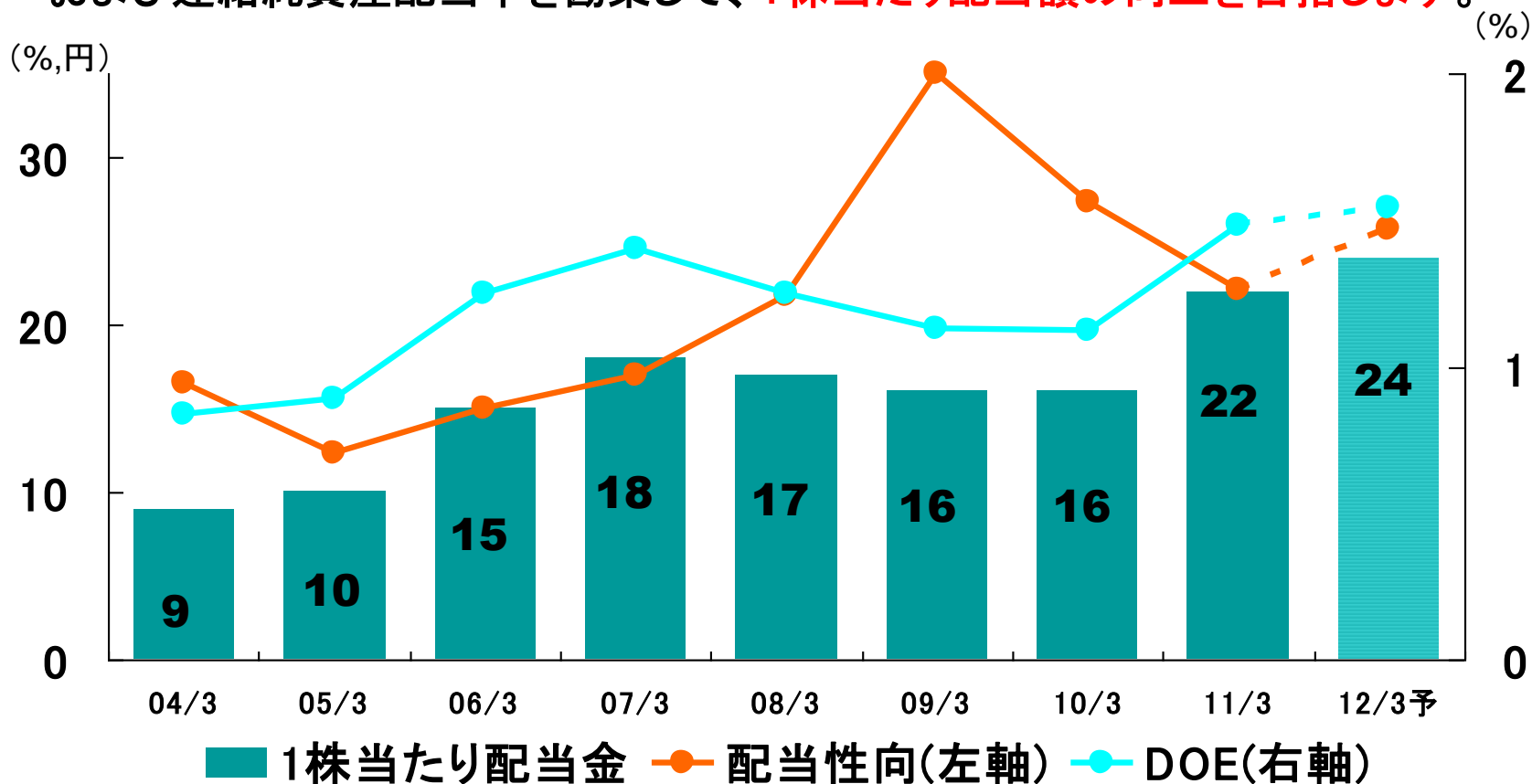
	11/03	主な内訳	10/03
営業活動による キャッシュ・フロー	+109	税前利益 209億円 減価償却費 63億円 運転資金 ▲130億円 法人税等 ▲50億円	+278
投資活動による キャッシュ・フロー	▲91	有形固定資産の取得 ▲57億円 投資有価証券の取得 ▲15億円 投資有価証券の売却 20億円 無形固定資産の取得 ▲18億円	▲94
財務活動による キャッシュ・フロー	+35	短期借入金の増加 61億円 配当金の支払い ▲23億円	▲117
現金及び 現金同等物の増減	+41	為替変動による現金の換算差額 ▲12億円	+66
現金及び 現金同等物の期末残高	472		428

(単位:百万円)

	社名	売上高	前期比	営業利益	前期比	当期純利益	前期比
単体	長瀬産業	456,877	110%	5,354	184%	7,637	157%
製造会社	ナガセケムテックス	30,864	118%	3,820	119%	2,291	129%
	東拓工業	7,536	105%	429	109%	415	149%
	◆製造会社計◆	68,515	113%	5,433	117%	3,762	136%
国内販売会社	ナガセプラスチック	28,221	183%	191	169%	92	178%
	長瀬カラーケミカル	14,955	115%	248	177%	150	180%
	ナガセケミカル	13,902	107%	224	119%	124	124%
	◆国内販売会社計◆	95,144	124%	1,299	174%	838	210%
海外販売会社	長瀬香港有限公司	53,216	93%	1,190	98%	977	100%
	ナガセタイランド	24,468	119%	1,052	162%	759	160%
	広州長瀬貿易有限公司	15,155	120%	421	206%	173	181%
	◆海外販売会社計◆	231,783	112%	6,043	143%	4,390	135%

※注) 各カテゴリの合計は、対象会社の単純合算値であり、連結決算数値と一致いたしません。

収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としており、連結配当性向および連結純資産配当率を勘案して、**1株当たり配当額の向上を目指します。**



注: 04/3期は、記念配当1円、07/3期は記念配当2円を含みます。

	04/3	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3(予)
配当性向	16.3	12.3	14.9	17.0	21.8	35.4	27.3	22.1	25.7
DOE	0.84	0.89	1.25	1.40	1.25	1.13	1.12	1.48	1.54

**2012年3月期業績見通し**

(単位:億円)

	上期	前年 同期比	下期	前年 同期比	通期	増減	前期比
売上高	3,150	95%	3,450	105%	6,600	▲2	100%
売上総利益	352 (11.2%)	95%	383 (11.1%)	106%	735 (11.1%)	+4 (+0.0%)	101%
販売管理費	▲275	104%	▲280	101%	▲555	▲12	102%
営業利益	77	73%	103	126%	180	▲7	96%
経常利益	85	75%	105	113%	190	▲16	92%
当期純利益	54	79%	66	110%	120	▲8	94%
1株当たり 当期純利益	42円02銭		51円35銭		93円37銭	▲6円39銭	94%

※計画為替レート 1US\$=83円

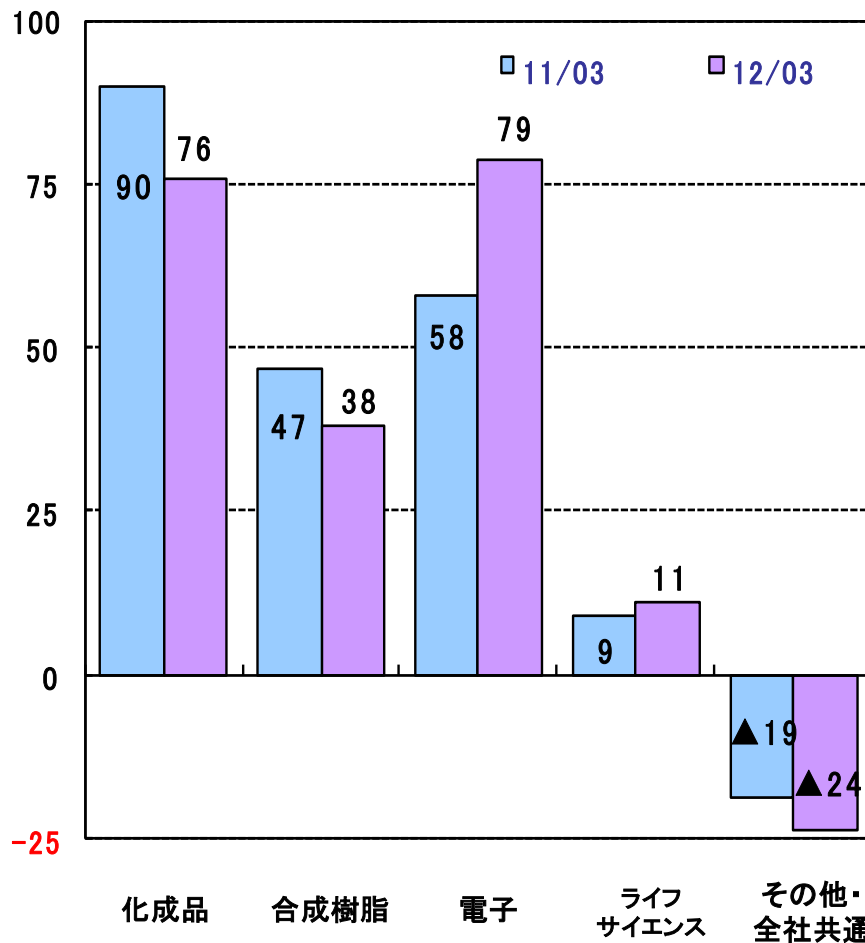
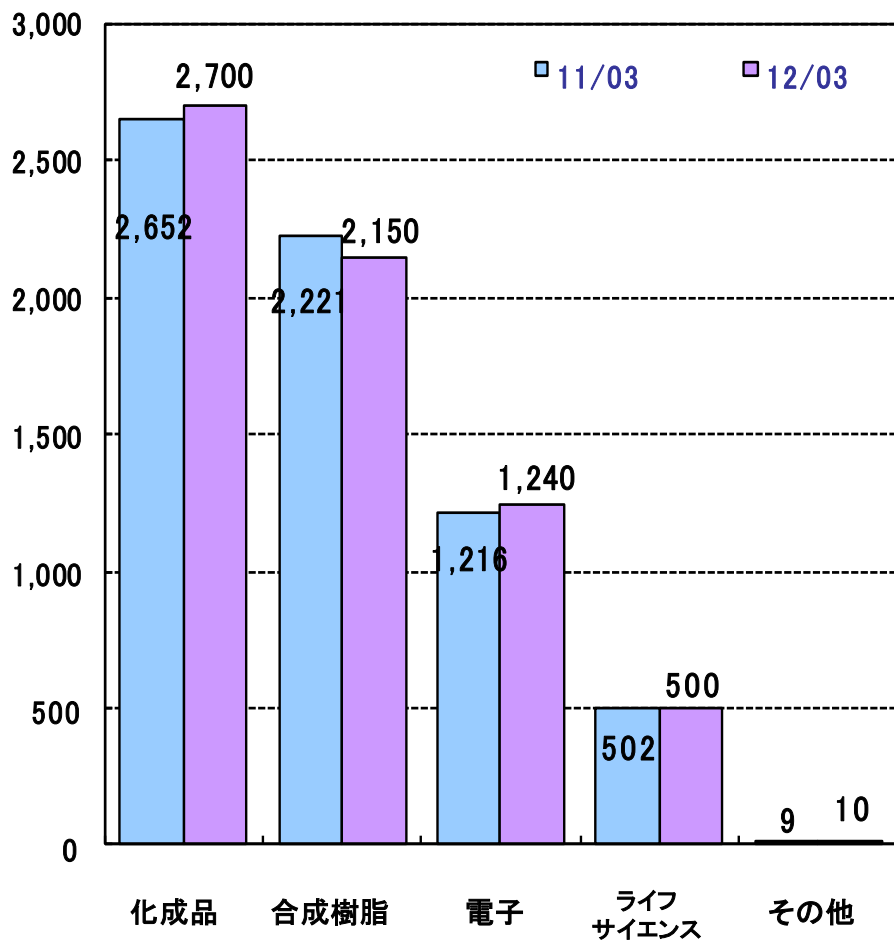


<セグメント別 売上見通し>

<セグメント別 営業利益見通し>

(単位:億円)

(単位:億円)



中期経営計画「*CHANGE* 11」進捗

## 経営理念

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、  
社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、  
社員の福祉の向上と社会への貢献に寄与する

## 将来の目指す姿

### （顧客に対して）

市場構造・環境の変化を先取りし、  
独自のソリューションを提案すること  
で顧客とともに発展する企業

### （株主・投資家に対して）

技術を基盤として、強みを活かした  
事業を中心に成長し価値を  
高め続ける企業

### （社員に対して）

事業を通じて、夢と理想を  
実現する場を提供する企業

### （社会に対して）

社会に貢献し、地球環境に  
寄与する企業

基本戦略  
事業と運営の質の向上

外部環境の  
大きな変化

- ・企業倫理
- ・環境・資源問題

グループ内の  
変化

- ・製造会社売上増
- ・海外売上比率高
- ・海外就労人員増

変わらなければいけないという  
意識

経営理念  
(誠実に正道を歩む)

1 事業の選択と集中

2 環境・エネルギー関連技術の取り組み

3 研究・開発・製造機能の強化

4 グローバル化の推進

5 リスクマネジメントの強化

6 ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援

## 1 事業の選択と集中

- 感熱紙に使用される特殊色素“カラーフォーマー”の事業譲受、米・日の関連会社を子会社化
- 米国インディアナ州に自動車内装用ブロー成型樹脂部品・製品の製造販売を行う合弁会社設立

## 2 環境・エネルギー関連技術の取り組み

- リチウムイオン電池モジュールの量産化に向けて(株)キャプテックス新工場設立決定
- エナジーデバイス室新設
- 太陽光発電システムインテグレーター グリッド社への資本出資および業務提携

## 3 研究・開発・製造機能の強化

- 中国江蘇省常州市に高性能合成樹脂および中間体の受託生産事業を行う合弁会社設立
- ナガセケムテックスの新生産棟の建設を決定

## 4 グローバル化の推進

- メキシコに現地法人設立
- メキシコに自動車用フレームラミネート製造会社設立

## 5 リスクマネジメントの強化

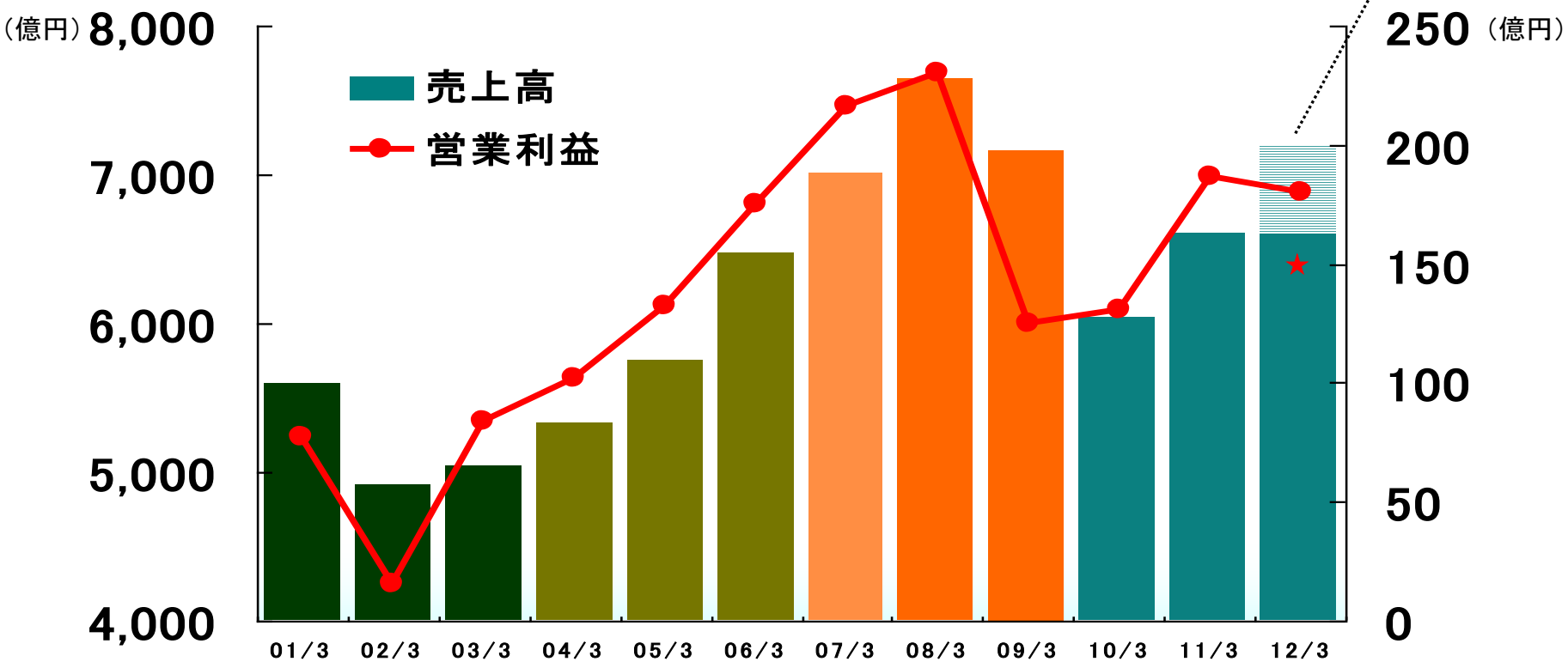
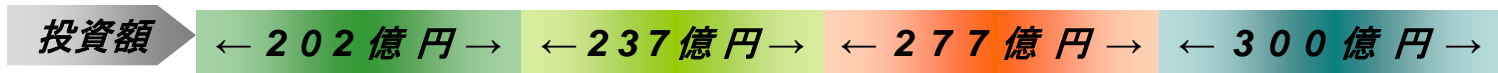
- 石化リスク分析とお客様への提案
- 化学品・製品の海外化学品法令への対応について、現地法人の安全貿易管理の整備完了

## 6 ダイバーシティの推進とワークライフバランスの支援

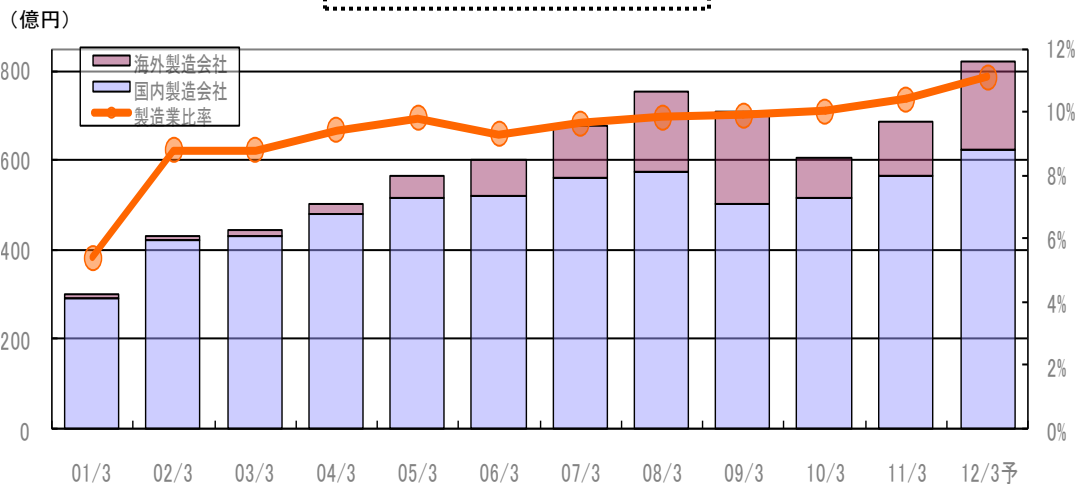
- 子育て支援企業の認定マーク「くるみん」を取得



当初目標  
売上 7,200億円  
営業利益 150億円



製造業比率(売上高)



投資(3年間)

**300**億円

環境・エネルギーを中心とした新規投資

**200**億円

既存設備更新

**100**億円

約**320**億円

12/3  
見通し

**113**億円

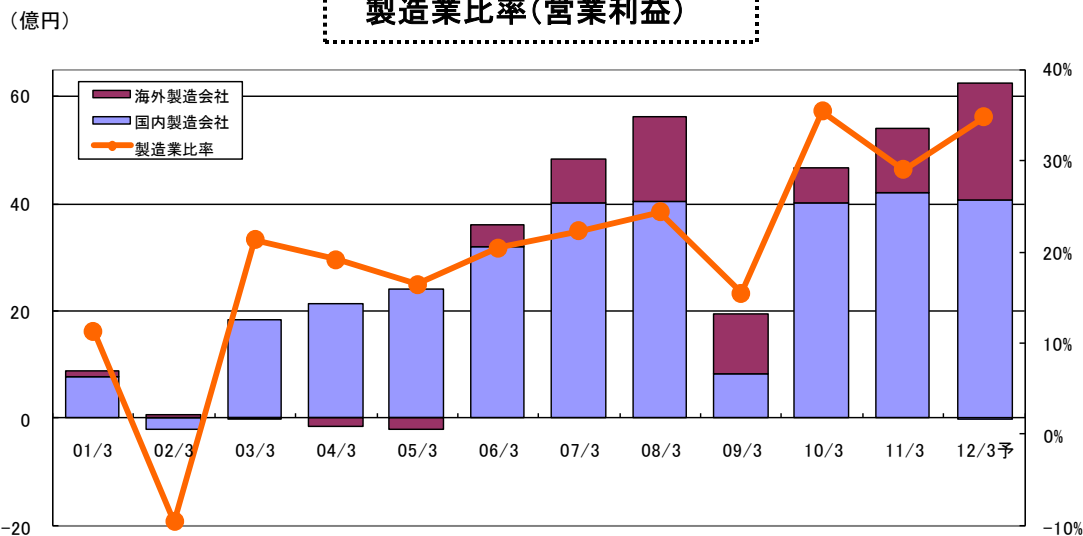
11/3  
実績

**97**億円

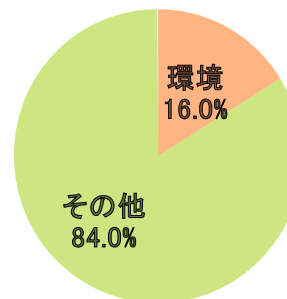
10/3  
実績

**107**億円

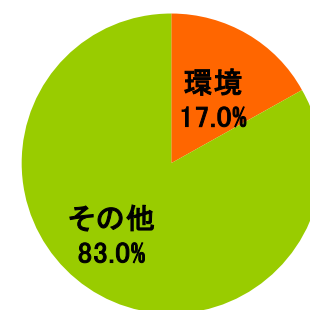
製造業比率(営業利益)



環境・エネルギー関連売上高比率



10/3期



12/3期(予)



**株式会社キャプテックスの事業展開について  
(蓄電デバイスへの取組み)**

**執行役員自動車材料事業部長 兼  
(株)キャプテックス代表取締役社長**

**朝倉 研二**

当社グループの中期経営計画「*CHANGE* II」において「環境・エネルギー関連技術の取り組み」を重点施策のひとつとして掲げております。

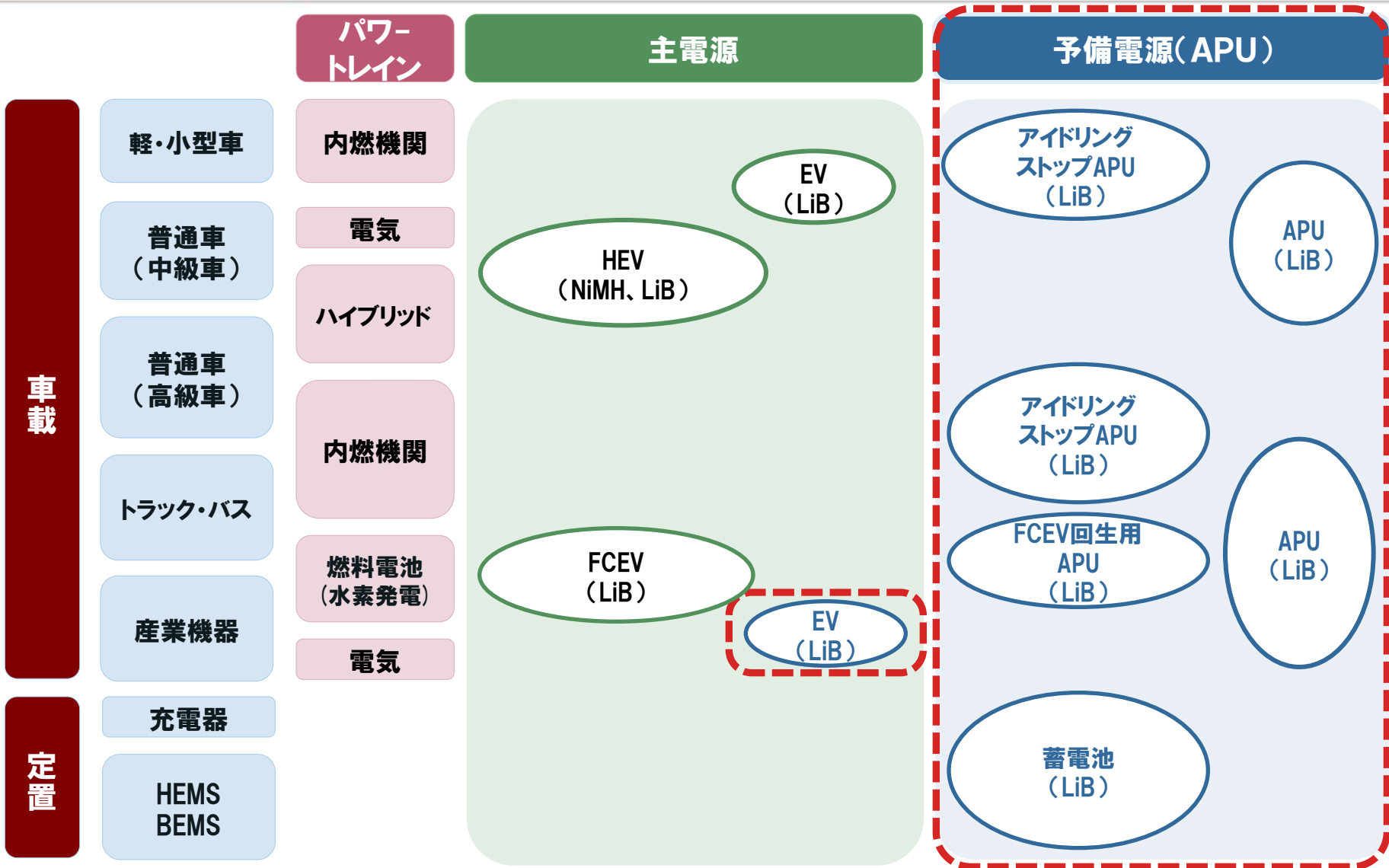
当社自動車材料事業部は、電気自動車等の環境対応車両等に向けた新規ビジネスを創出・拡大すべく、グループ会社であるキャプテックスにおいて、リチウムイオン電池モジュールおよびシステム開発を進めています。

## (株)キャプテックス

- ・設立 2004年7月
- ・資本金 4.96億円（長瀬産業100%出資）
- ・事業概要 電池電源制御の製造、開発  
電池電源及び電源周辺機器の製造、開発

### 【沿革】

- 2004年 電気二重層キャパシタライセンス取得
- 2005年 ハイブリッド車一次試作用リチウムイオン電池モジュールを開発
- 2006年 ハイブリッド車二次試作用リチウムイオン電池モジュールを開発
- 2007年 産業機器試作用キャパシタモジュールを開発
- 2008年 京都大学VBL[kyoto-Car]プロジェクトに参画
- 2009年 長瀬産業株式会社の100%子会社  
京都大学との共同研究をスタート
- 2011年 量産工場建設を決定（操業開始は2012年を予定）



HEMS : Home Energy Management Systems  
 BEMS : Building Energy Management Systems

EV : Electric Vehicle  
 HEV : Hybrid Electric Vehicle  
 FCEV : Fuel Cell Electric Vehicle

LiB : Lithium-Ion Battery

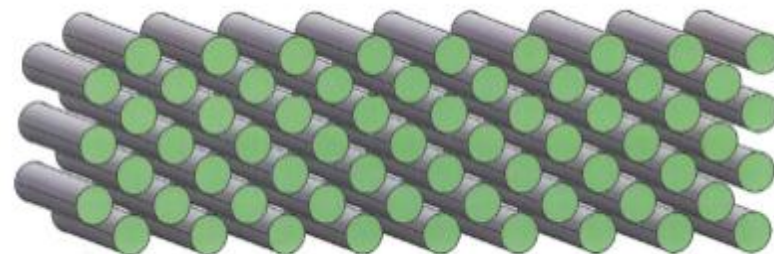
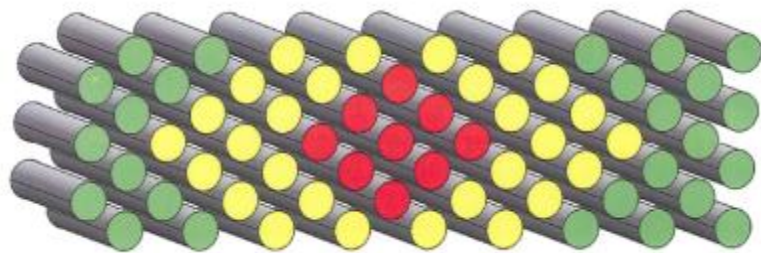
従来品では成し得なかった熱分散・電圧均等技術により、高安全性・長寿命を実現

(電池制御技術)

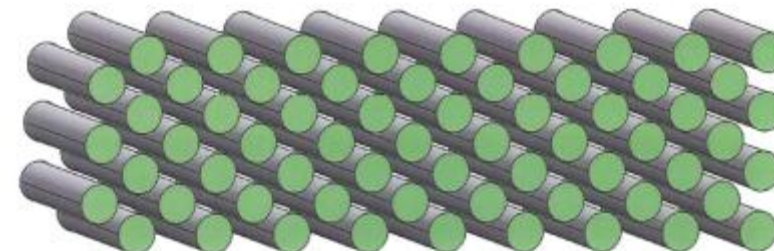
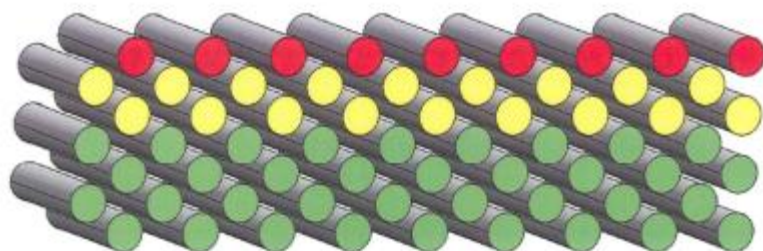
①熱分散(温度調節) ②電圧均等化

→高安全性・長寿命

①熱分散(温度調節)



②電圧均等化



企画・仕様検討・検証プロセスをワンストップで実現



- (要素技術)
- ①パック化
  - ②熱
  - ③振動
  - ④ノイズ
  - ⑤大電流
  - ⑥充放電制御
  - ⑦残量管理
  - ⑧CAN通信
  - ⑨遠隔監視
  - ⑩バンク制御
  - ⑪カスケード利用
- +
- (実証経験)



ワンストップサービス



早期量産技術の確立、要求品質の確保

	開発案件	仕様	量産開始	企画台数 (モジュール数)
1	ポータブル電源	DC12V/DC24V AC100V	2012/中	700pcs/年
2	アイドリングストップ対応 予備電源	DC300V	2012/末	24000pcs/年
3	充電器	DC300-360V	2013/初	15000pcs/年
4	BEMS/HEMS	DC300V	2013/初	15000pcs/年

(モジュール事例)





	開発案件	仕様	量産開始	企画台数 (モジュール数)
1	産業機器用電源	DC24V	2012/末	1000pcs/年
2	産業機器用電源	DC48V	2013/初	1500pcs/年
3	駐車場用蓄電池	DC24V DC300-360V	2013/初	1000pcs/年

(モジュール事例)

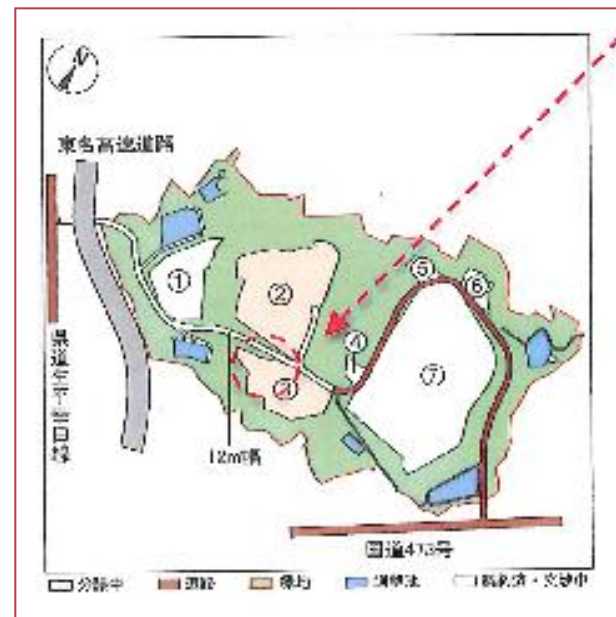


別紙①：(イ) 補助事業の実施場所の付近見取図



## 【新工場の概要】

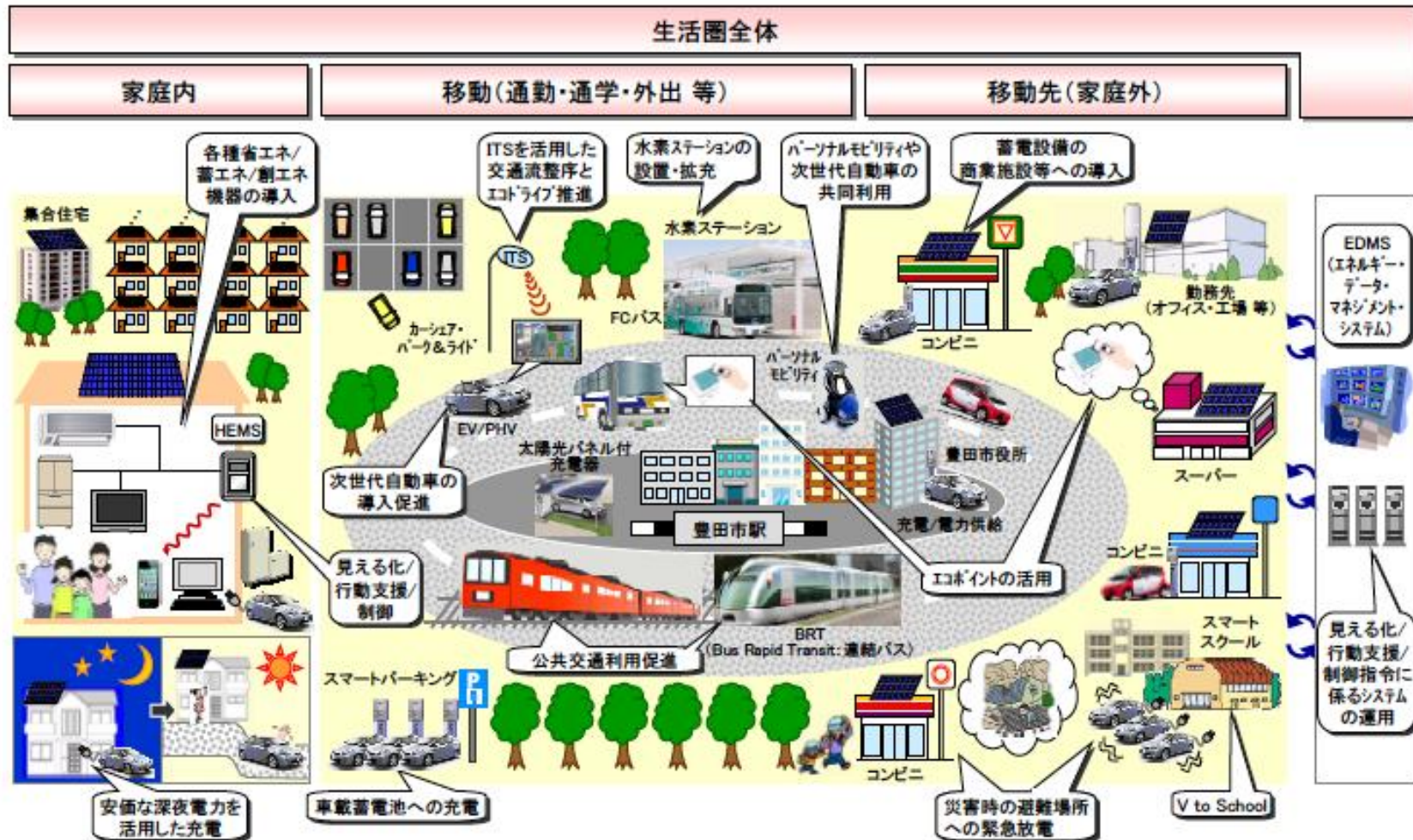
所在地 愛知県岡崎市  
 土地面積 約23,000㎡  
 延床面積 約5,000(2階建)  
 着工予定 平成23年6月  
 完成予定 平成24年3月  
 投資総額 約20億円



2013年の売上高目標 約15億円







《出典:愛知県豊田市における「家庭・コミュニティ型」低炭素都市構築実証プロジェクトマスタープラン》

**低炭素社会に蓄電デバイスを提供することで社会に貢献する**  
**セル:汎用セル+ラミセル /高効率制御+カスケード利用**



# 知恵をビジネスにする技術・情報企業

## 長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2011年5月20日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。